

平成29年度 第4回向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会  
要点録

- 開催日時 平成30年1月31日(水)午後2時00分～4時00分
- 開催場所 向日市福祉会館 大会議室
- 出席者 清家委員、植田委員、堀委員、高桑委員、宮川委員、  
乾委員、上田委員、今川委員(村上主査代理出席)、水上委員(以上9名)
- 欠席者 出射委員、川本委員
- 傍聴者 なし
- 議事 (1) 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画案について(資料1～3、当日配布資料)  
(2) パブリックコメントの結果について(資料4)  
(3) その他
- 資料 次第  
資料1: 第3回策定委員会からの主な変更点  
資料2: こうふくプラン向日  
(第8次向日市高齢者福祉計画・第7期向日市介護保険事業計画)(案)  
資料3: 委員会委員からの意見と市の対応  
資料4: パブリックコメントにおける意見と市の対応案  
当日配布資料: 委員配布資料①、②

○内容

- 議事 (1) 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画案について  
(2) パブリックコメントの結果について

(要点)

- 資料1、2、3、4を用いて、前回提示した計画からの主な変更点、介護サービスの見込み量、保険料等について説明した。

(主な意見・質疑)

- 資料3に掲載されている委員からの意見を補足するため、追加資料が委員から配布された。
- 地域共生社会に向けた取組の推進において、どの項目も地域包括支援センターを中心に取り組むとされ、市が地域住民と協力しあうという視点が明確になっていないとの意見があり、他課所管の内容も含まれていることから、本計画では具体的な内容の記載をしていないことを説明した。
- 相談支援の充実において、業務負担が多い地域包括支援センターを総合相談支援拠点にするには問題があるとの意見があり、地域包括支援センターに解決までを全て任せきりにしているものではなく、市も対応していることを説明した。
- 各介護サービスの具体的な説明について、巻末の用語解説ではなく各項目においてサービス内容やポイントを簡潔に記載すべきとの意見があり、各介護サービスの詳細はパンフレットに記載していること、各項目に用語解説を挿入すると計画の内容がぼやけてしまう可能性があることを説明した。
- 巻末の用語解説について、解説のある用語に線を引く等の工夫をする必要があること、また解

説内容の見直しが必要との意見があった。

- 地域支援事業費の見込みについて、事業内容や事業量の説明が不十分との意見があり、事業量を提示する難しさがあることから、金額のみを提示していることを説明した。
- 京都市の中間報告資料の抜粋が委員から配布され、事業量の見込みについて京都市と同様に詳細な記載をすべきとの意見があり、京都市との規模の違いや、京都府内の他市の状況を鑑みても可能な範囲で掲載していることを説明した。
- 計画内容に消極的な姿勢がうかがえる部分があるため、その点を見直してはどうかという意見があり、委員意見を参考に記載方法を工夫した修正案を作成し、メール・書面等で内容を確認していくという方法で合意した。
- 次期計画策定に伴い増加する地域包括支援センターの業務量を具体的に把握できるよう、2月に行われる運営協議会での報告を望む意見があった。
- 地域の自主的な活動との連携において「協議体を活用して、地域における継続的な見守りから適切なサービス利用や支援に結びつける仕組みづくりを推進します」との文言があるが、委員からの提言を踏まえると「協働を図る仕組みづくりを推進します」という文言を含むのが良いのではないかと意見があった。
- 資料内に数字データが多く、市民が読む際にポイントが明確になりづらいため、数字データを出す意図や訴えたいメッセージを含めるのが良いのではないかと、メッセージ性の弱さから市民にとって本計画が遠い存在になっているのではないかと意見があった。
- 施設サービスの「介護老人福祉施設」と「認知症対応型共同生活介護」が平成30年から31年で2名の増加となっている根拠について質問があり、自然体推計による増加であることを説明した。

### 議事（3）その他について

（要点）

- 本計画の最終決定までの流れ、冊子の発行のスケジュール、来年度以降の会議開催予定について説明した。

（主な意見・質疑）

なし